

学校の教育目標：やさしく かしく たくま 経営方針：心の宝物が輝く学校



# THE かさはら TEAM

令和 3 年度  
笠原小学校  
学校便り  
7 月 20 日号

児童会：新しいリーダーによる新しいスローガンを楽しみにしています

## 夏休み 無事に笑顔で

校長 鈴木 稔朗

いよいよ梅雨が明け、日差しが強さを増しました。それでも子ども達は元気いっぱい。グラウンドで、授業で、給食や掃除に大活躍。よさも、もちろんよわさも見せながら、お互いにぶつかり合い、学び合い、笑顔と成長の日々を過ごしています。

4 月からここまで、児童も、職員も、温かで安心できる「心の宝物が輝く学校」をめざして充実の日々を過ごして参りました。

つくし学級はどちらも新しい仲間を迎え、新鮮なスタート。苦手なことから逃げないで真正面から挑戦し、日々の生活で、運動会で、たくさんの宝物を残しました。回を重ねて充実する自立活動、牛乳パックから手作りした暑中見舞い葉書。夏でも伸びるつくしっこです。

入学当初はまだまだ幼かった1年生は、7月に入ったあたりからアサガオのようにぐっと伸びました。朝の会の司会、健康観察、宿題集め、掃除。係や当番の仕事に取り組む姿に、それをきちんと支える姿に、願いや責任感を感じられるようになりました。

2年生の朝は元気な挨拶から始まります。「Let's start morning meeting！」「yeah！」というかけ声で笑顔の花が咲きます。給食の配膳が早く、丁寧になりました。終了後の台の上が美しく整えられています。全員が夏野菜のように豊かに実っています。

3年生は元気いっぱい。学級遊びに、虫やカエル、オタマジャクシ採りに、休み時間をエンジョイしています。くーちゃんのお世話をよくやってくれています。お昼のお掃除隊、ドアガールズとドアボーイズ。ハウセンカとボランティアの心が美しく咲き誇っています。

4年生は高学年の仲間入り。自覚が姿に表れています。近くを通れば「こんにちは！」ごみを拾えば「ありがとうございます！」少し力が抜けてしまった次の掃除では真剣に頑張る。これもまた、かけがえのない経験。成功も失敗も、全てを糧にコロコロガーレ。

委員会で活躍しはじめた5年生は、竹の節のように大きく伸びています。グッドワードシャワータイムでお互いへの信頼と自信が深まり、持ち前のパワーが善い方向へ。掃除の時間は、横を歩いて通るのが申し訳なくなるほど全員が懸命に。奇跡のような姿に感動。

6年生は全校の安定の象徴。咲き誇る一人一人。強まる継(きずな)。挨拶も、聞き方名人も、今年は委員長を中心に、彼らの行動と語りが充実させてくれています。何が最善かを自分たちで判断し、実行する。自治という文化。オンラインによる校内少年の主張大会。笠原小に、新しい歴史を刻みはじめています。

\*\*\*\*\*

昨年度の今頃は、学校再開後一ヶ月あまり。ようやく学校生活にリズムができはじめたころでした。4 月からここまでの充実を振り返ると、改めて子どもたちが毎日学校に来られる当たり前の日常が、彼らの笑顔と成長にとって、それを生きがいとする私たちにとって、どれほどかけがえのないことかが深く自覚されます。そうして、厳しい状況の中で、精一杯コロナ禍の学校生活を理解し、サポートしてくださっている保護者の皆様、地域の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。ここまで本当にありがとうございました。今日から 8 月 26 日(木)まで、目と手は離れてしましますが、私たちの心が子どもたちから離れることは片時もありません。お悩みのとき、お困りのときは迷わずご連絡ください。8月27日(金)にはどうか笑顔で再会できますように。私たちは常に子どもたちと保護者の皆様と共に在ります。